

# 甲子山山行報告

**【山行日】** 2025年 11月 2(日) 曇り後晴れ  
**【集 合】** 栃木市運動公園P AM 6:00  
**【費 用】** マイカー2台 : 2,100円  
**【メンバー】** CL:鈴木、 SL:大西、  
伊藤シ、猪瀬、植竹、大塚、佐藤、嶋田、関、  
田崎、長谷川、福島、藤原フ、峯、渡邊  
**【コースタイム】** 栃木市運動公園 6:00=甲子温泉  
P7:30/7:45~猿ヶ鼻 9:05/9:20~甲子峠分岐 9:50  
~甲子山 10:05/10:30~猿ヶ鼻 11:15/11:25~  
甲子温泉 P12:30/12:40=新駒本店 13:05/14:00  
=小峰城 14:10/15:00=栃木市運動公園 P16:30



BS のテレビ番組「そこに山があるから」で紅葉の甲子山が放映され、山行アンケートで紅葉の甲子山のリクエストがあった。11月~来年4月の山行計画なので、猿ヶ鼻の紅葉は終わってしまうが



山麓の登山道は間に合うだろうと計画した。栃木市運動公園を6:00に出発し、東北道を北上して白河 IC で降り国道289号線を進み甲子温泉へ向かう。甲子トンネル手前の安心坂トンネルを出た所を左折し、少し下って甲子温泉大黒屋旅館先の甲子山登山者用駐車場に車を止める。出発の準備を整えストレッチを済ませて出発し、大黒屋の前を通過して登山道へ入る。直ぐに阿武隈川と白水沢合流点で阿武隈川を渡り、白水沢への入渓点があり以前沢登りで来たことを思い出した。ここから大

きく左に折れて急坂を登り、温泉神社の前を通過してブナ林の道を進む。このあたりのブナの黄葉が見頃で、皆さんからウワ~綺麗と歓声が上がる。我輩も真っ黄色のブナの黄葉は初めてで、これほど黄色く輝いたブナに大興奮。今までは少し茶色く変色した紅葉しか見たことが無いが、丁度見頃のブナの黄葉はこれほど美しいのかと感動した。

猿ヶ鼻までは九十九折れの急坂が続くが、ブナの黄葉を見ながら楽しく登ることが出来た。やがて傾斜が緩くなり、平坦な道を進むと猿ヶ鼻に着き小休止し水分補給とおやつをいただく。テレビの「そこに山があるから」では、猿ヶ鼻から山頂までの稜線が紅葉のトンネル、気持ち良く登る様子が映っていたが、紅葉はすでに終わっていた。それでも紅葉が終わった分展望が良く、周囲の山々を眺めながら歩くことが出来る。甲子峠分岐を左に進むと急な岩場の登りになり、頂上直下にクサリが設置されているが使うことなく登ることが出来る。



急登を頑張ると甲子山山頂に出て、360度の大大パノラマが出迎えてくれ今までの疲れを吹き飛ばし



してくれる。左手には赤い岩肌の荒々しい旭岳、反対側にはドッシリした山容の大白森山等々の展望が素晴らしい。展望を楽しみながらリンゴや菓子をいただき、記念写真を撮ったら山頂を後にする。下り始めると急な岩盤の下りが滑りやすく、クサリを頼りにゆっくりと下る。登りでは「なんでこんな所にクサリが有るんだろうね？」と言いながら登ったが、下りはクサリが無いと滑りそうで怖い。猿ヶ鼻まで下って休憩し、残ったおやつを食べてエネルギーを補給する。ここからの

下りはブナの黄葉を楽しみながら下り、朝よりも陽射しを受けて一層美しく輝いて見えた。甲子温泉の駐車場に戻ったら靴を履き替え、車に乗って白河市内の蕎麦処「新駒本店」へ向かう。新駒本店

に13:00に予約を入れてあり、割子そばと天ざる蕎麦、かき揚げ蕎麦を事前をお願いしてある。皆さんがそれぞれ頼んだ蕎麦をいただき、美味しいと満足したようである。お腹が満たされたら近くの小峰城跡へ向かう。国指定史跡の小峰城は以前から見てみたいと思っていた城で、NHK 大河ドラマ「べらぼう」に出てくる松平定信の居城でもあり今話題の城である。本丸跡の三重櫓への上り口に行くとボランティアガイドの方がいて、「ガイドしていただけますか？」と聞くと「何人ですか？」と言われ「15名です」と答えると2班に分けて案内してもらえた。



小峰城の成り立ちや歴史の説明を丁寧にいただき、前御門等を案内していただき小峰城を後にする。帰りは白河中央スマートインターから東北道に入り、途中の大谷 PA に寄ってトイレ休憩し予定通り栃木市運動公園に帰着した。

